

* 施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください
お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に保管してください。

ここに示した注意事項および説明書の注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 気をつけていただきたい「注意」を表します。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

禁止 指定した場所に触れないでください。

禁止 分解しないでください。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

注意 漏水の恐れがあります

		給湯温度は85°C以上で使用しないでください。85°Cよりも高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60°C程度をおすすめします。
		製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな力や衝撃を与えないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		寒冷地用 水抜き弁は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜き弁をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯・水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		寒冷地用 凍結が予想される地域や場所で使用される場合は、寒冷地用の製品をご使用の上、配管部などに保温材を巻いてください。また、凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		水栓を取付台に設置する場合は、施工説明書にしたがって締付ナットまたは固定金具を正しく取付けてください。取付けが不十分な場合、取付台の下キャビネット内や流し台内へ漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		施工時に各部の接続（配管との接続など）を行う際は、パッキンやリングなどが付いていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認してください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		ハンドスプレー付きの水栓の場合には、水滴がシャワホースを伝ってキャビネット内や流し台内に落ちた場合に備えて必ず水受容器（水受バスケット）を設置してください。また、水受容器（水受バスケット）はシャワホースがきちんと収納できるように設置してください。キャビネット内や流し台内に水滴が落ちて、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		説明書に記載されている箇所以外の部品は分解しないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

		温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。 * 飲用可能な井戸水でもスケール・緑青発生で止水不良などの恐れがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。
		湯と水を逆に配管しないでください。やけど、器具破損の恐れがあります。
		元止式湯沸器には使用しないでください。
		給湯に蒸気を使用しないでください。
		用途以外では使用しないでください。 （例：浴室用シングルレバー混合栓の食品工場・製薬工場の製造設備での使用など）
		施工および点検・メンテナンスのためにキャビネット内または流し台内に給水・給湯配管および止水栓を設置してください。
		給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側（壁の中）に配管（隠蔽配管）する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。 点検口がない場合、経時変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		施工前に配管内のゴミなどを洗い流してから取付作業を行ってください。
		特に指定のない水栓は住宅用ですので、業務用にご使用になりますと製品の寿命が短くなります。

注意 やけどの恐れがあります

		他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。 やけどの恐れがありますので、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。
--	--	--

* 品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

使用条件 下記事項をよくお読みの上、正しく設定してください。

<瞬間型給湯機と組み合わせる場合>

単位：MPa

瞬間型給湯機の号数	最低必要水圧	最高水圧
16号	A+0.10	0.75
20号	A+0.08	
24号	A+0.08	
比例制御式	上記の各数値に0.02プラスしてください	

A = 給湯機の最低作動水圧 + 配管圧力損失

<貯湯式給湯機と組み合わせる場合>

単位：MPa

最低必要水圧	最高水圧
0.05	0.75

- 給水圧力と給湯圧力は、できるだけ同圧になるようにしてください。
- 湯側・水側の配管は、本体（正面）に向かって湯側を左側に、水側を右側に配管してください。
- 給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするために5m以内にして、必ず保温材を巻いてください。
- 冬期に快適なシャワーを得るためには12号以上の瞬間型給湯機と組み合わせる必要があります。

* 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に保管してください。

ここに示した注意事項および説明書の注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- してはいけない「禁止」を表します。
- 指定した場所に触れないでください。
- 分解しないでください。
- 必ず実行していただく「強制」を表します。

注意 やけどの恐れがあります

		シャワヘッドやハンドスプレーには60°C以上のお湯を通さないでください。シャワヘッドやハンドスプレーの変形や破損により、やけどやケガをする恐れがあります。やけどなどを防止するため、45°C程度以下をおすすめします。
		小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・ケガをする恐れがあります。また、小さいお子様や高齢者、お体の不自由な方がご使用になる際は、十分にご注意ください。
		水栓の左側および湯側のクランクには直接肌を触れないでください。給湯側のため、高温になっており、やけどをする恐れがあります。
		高温の湯をご使用の際は、吐水口(パイプやスパウトなど)に直接肌を触れないでください。吐水口(パイプやスパウトなど)は高温になっているため、やけどをする恐れがあります。
		ハンドルの温度位置を確認してから、吐水してください。高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
		湯をご使用後は、必ずハンドルを水側にして、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
		湯をご使用の際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後、ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると、高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
		シャワ付き混合栓の場合 シャワご使用後は、切替ハンドルを必ず吐水口側(パイプやスパウトなど)に切替えてください。切替ハンドルがシャワ側になっているのに気づかず湯を出すと、やけどの恐れがあります。
		シャワ付き混合栓の場合 ご使用前に、必ず適温であることを確認してください。高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
		シャワ付き混合栓の場合 ご使用前に、吐水口側かシャワ側かを切替ハンドルで確認してから湯をご使用ください。高温の湯を使用する際、吐水口側とシャワ側を間違えると、やけどをする恐れがあります。
		他所の水栓を同時使用されると、やけどをする恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。

注意 漏水の恐れがあります

		給湯温度は85°C以上で使用しないでください。85°Cよりも高温で使用されると、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60°C程度をおすすめします。
		製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな力や衝撃を与えないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		吐水口(パイプやスパウト、ハンドスプレーなど)の先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。製品の変形や破損により、漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		寒冷地用 水抜き弁は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜き弁をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯・水が噴出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		寒冷地用 解氷機をご使用の際は、水栓には絶対に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		寒冷地用 凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		定期的に、配管周り(キャビネット内、点検口内など)の漏水やガタツキがないか確認してください。劣化や磨耗などで部品が破損し、やけどやケガをしたり、漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 パッキンや逆止弁、カートリッジやシャワホース(ハンドスプレー付きの水栓を含む)などは、劣化や磨耗すると漏水などの原因となりますので、定期的な交換をおすすめします。
		キッチンおよび洗面用の水栓は、1ヶ月に1回程度キャビネット内(点検口内など)の漏水や水受容器(水受バスケット)に水がたまっていないか確認してください。パッキンなどの消耗部品の劣化や収納物の出入れによる配管のゆるみなどによって、漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		説明書に記載されている箇所以外の部品は分解しないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
		日頃から、ときどき吐水口(回転式のパイプやスパウト)をまわしてください。吐水口を長期間まわさずに使用すると、水あかなどが付着し、まわりにくくなります。無理にまわそうとすると、漏水の原因となります。

注意 その他の注意事項

		シャワ付き混合栓の場合 シャワを使用して浴槽に湯をはらないでください。シャワヘッドが破損したり逆流の恐れがあります。
		シャワ付き混合栓の場合 シャワ吐水のハンドルを閉めた後、シャワからしばらく水が垂れることがあります。これはシャワヘッド内部の残留水が排出されるものです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
		吐水口(パイプやスパウト、ハンドスプレーなど)の先端に浄(清)水器を取付けてご使用になる場合は、止水機能を持った浄(清)水器は使用できません。吐水口(パイプやスパウト、ハンドスプレーなど)部や水栓本体から漏水する恐れがあります。
		特に指定のない水栓は住宅用ですので、業務用にご使用になりますと製品の寿命が短くなります。

* 品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

施工説明書

KG-2

シングルレバー
混合栓
(分水孔つき)

施工前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓(分水孔つき)をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 取り付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

製品同梱明細について…

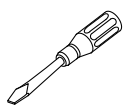
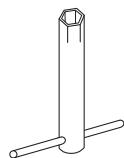
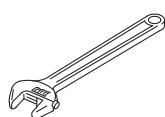
- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照の上、部材をご確認ください。

施工に必要な工具

● モンキーレンチ

● 立水栓取付工具

● マイナスイドライバー

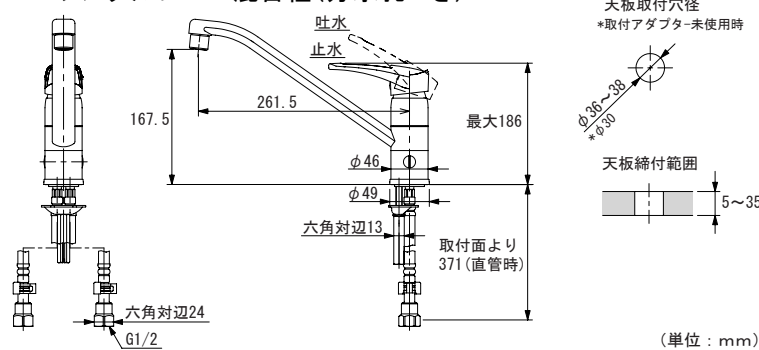


取り付けの前に

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

寸法図

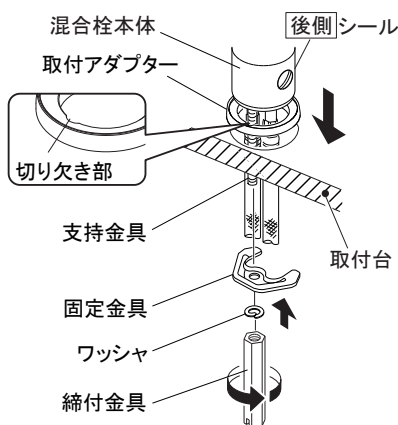
KG-2 シングルレバー混合栓(分水孔つき)



取付方法

1. 混合栓本体を取り付けます。

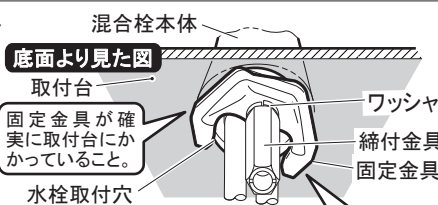
- ① 混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認します。
* 取付穴径がφ30mmの場合は、『取付アダプター』を取り除いてから取り付けてください。
- ② 混合栓本体の支持金具より締付金具・ワッシャ・固定金具を取りはずします。
- ③ 混合栓本体の支持金具に、取付アダプター『切り欠き部』を合わせ取付台に差し込みます。
* 混合栓本体の「後側」シールを真後ろにしてください。
- ④ 下部より固定金具・ワッシャ・締付金具の順で取り付け、混合栓の締付金具を「レンチ」などでしっかりと締め付け、混合栓を確実に固定します。



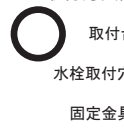
1. 混合栓本体を取り付けます。(つづき)

● 固定金具の取付方法について

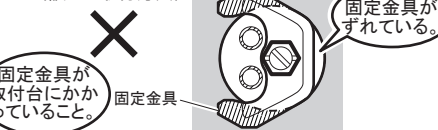
混合栓本体を取り付けの際は、下図を参照し、固定金具が確実に取付台にかかるように取り付け、締付金具でしっかりと固定してください。



〈正しい取付方法〉



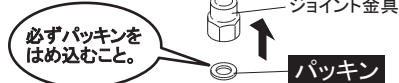
〈誤った取付方法〉



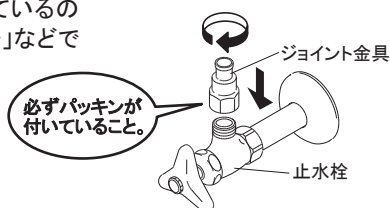
- 固定金具は取付台に正しく取り付けてください。シンク下へ水もれを起こし、家財に損害を与える恐れがあります。
- 締付金具を締め過ぎないでください。固定金具が変形し、シンク下へ水もれを起こし、家財に損害を与える恐れがあります。

2. TPEホースを取り付けます。

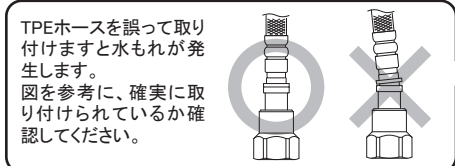
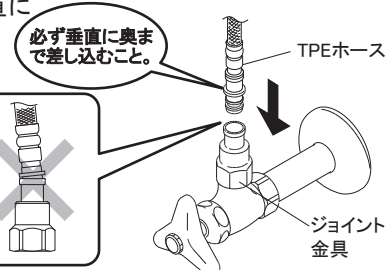
① ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。



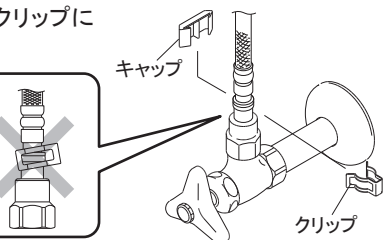
② ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締め付けます。



③ TPEホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差し込みます。



④ 固定用のクリップを「パチッ」と音がするまではめ込み、抜け防止のキャップをクリップに取り付けます。



ジョイント金具にパッキンが付いているのを必ず確認してください。パッキンが付いていないと水もれを起こし、家財などをぬらす恐れがあります。



TPEホースはジョイント金具に対して必ず垂直に差し込んでください。垂直に差し込まないと水もれを起こし、家財などをぬらす恐れがあります。



クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップをはめた状態にしてください。



TPEホースの湯水シールを確認して逆配管にならないようご注意ください。



TPEホースおよびTPEホース上部の銅管は、無理に曲げないでください。水もれを起こし、家財などをぬらす恐れがあります。

● 取り付け後の点検

- ① 止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。
- ② ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

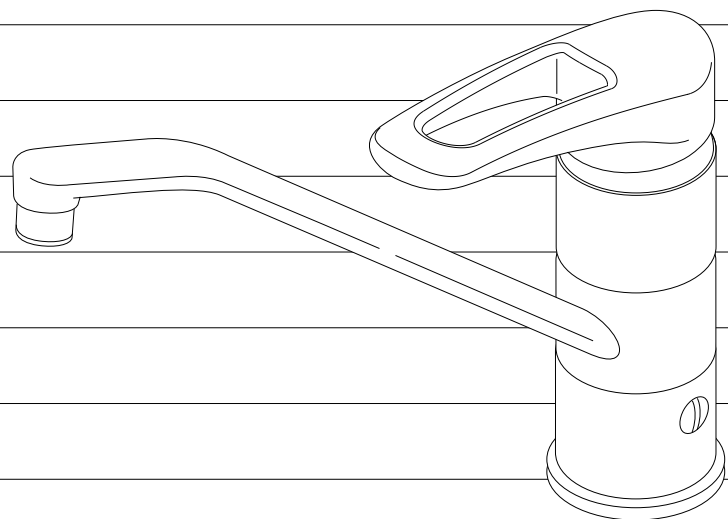
ご購入店名(施工業者名)

株式会社 日本アトミック

取扱説明書

シングルレバー 混合栓 (分水孔つき)

KG-2



使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

製品同梱明細

このたびは、シングルレバー混合栓(分水孔つき)をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

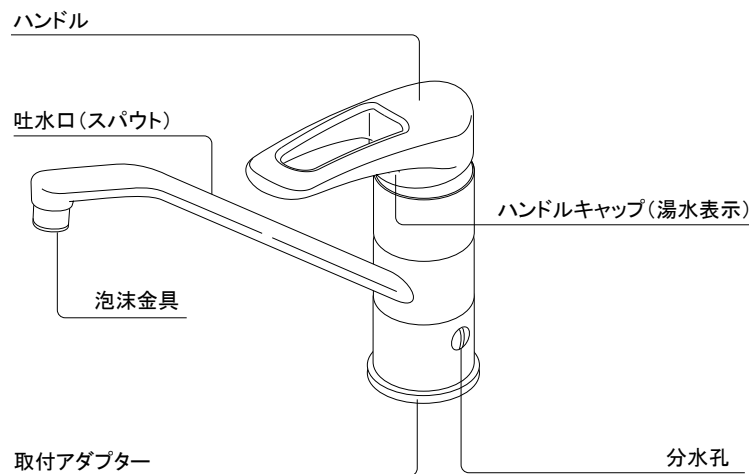
■この取扱説明書の製品同梱明細は、施工される際に各部材をご確認の上、施工説明書と合わせてご使用ください。

品番	品名	取付穴径 (mm)	本体	(逆止弁つき) (2金具)	クリップセット (2コ)	取付アダプター
KG-2	シングルレバー混合栓 (分水孔つき)	φ36~φ38 (※φ30)	○	○	○	○

*上記部材に加えて、
●取扱説明書 ●施工説明書 ●安全上のご注意 ●六角レンチ ●保証書を同梱しています。

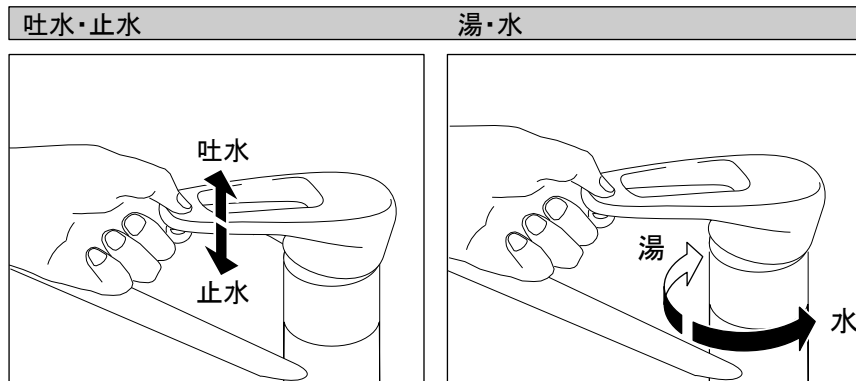
※取付穴径がφ30mmの場合は、取付アダプターを取り除いてから施工してください。

KG-2 シングルレバー混合栓(分水孔つき)



使用方法

●ハンドルの操作方法

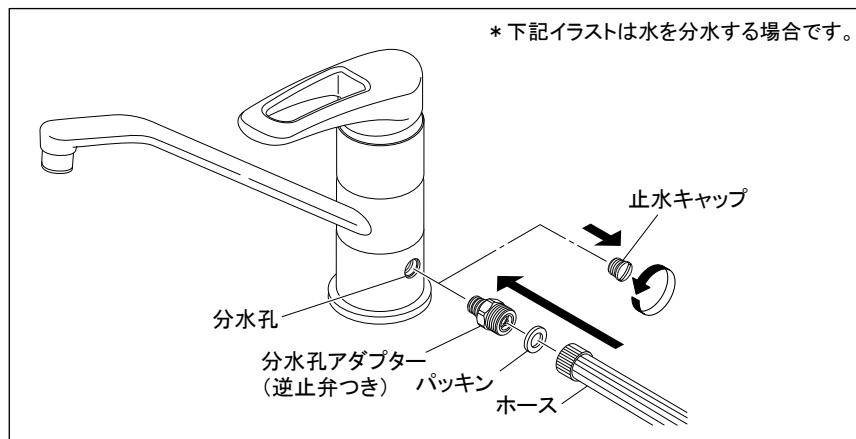


ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。
ハンドルを上げた状態で左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。

- 湯をご使用の際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から水もれを起こす恐れがあります。

●分水孔の使用方法

分水孔アダプターを使って、混合栓から湯・水を分水することができます。
*分水孔をご使用の場合は、【分水孔アダプター(逆止弁つき)(品番Y019-001)】を別途お求めください。



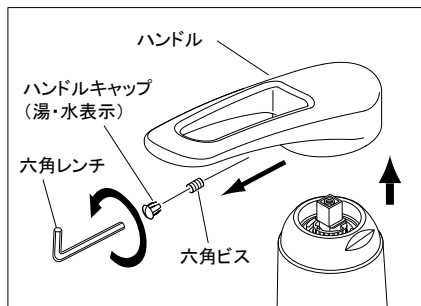
- ①止水栓または元栓を閉めて、水が出ないようにします。
- ②分水する側の止水キャップを「太めのマイナスドライバー」などで取りはずします。「レンチ」などで分水孔アダプターを分水孔にしっかりと取り付けます。
- ③接続するホースやバルブなどにパッキンが入っているのを確認した後、分水孔アダプターに取り付けます。
- ④止水栓または元栓を開いて通水し、水もれがないかを確認します。

- 分水孔を使用する場合は、必ず接続する器具の取扱施工説明書で使用温度や使用条件などをご確認の上、正しくご使用ください。
- ホースやバルブなどを取り付ける場合は、分水孔アダプターがゆるまないようご注意ください。締め付け方がゆるいと、水もれを起こし家財などをぬらす恐れがあります。

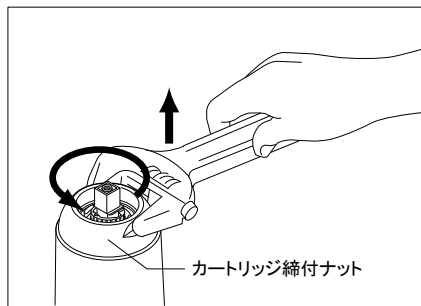
⚠湯を分水される際は、高温の湯が出てくる恐れがありますので十分ご注意ください。やけどをする恐れがあります。

カートリッジの交換方法

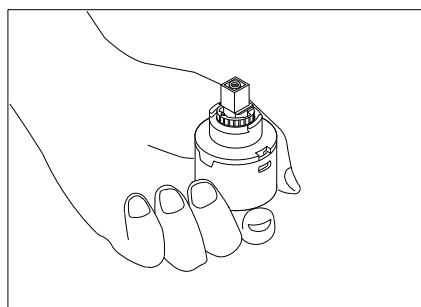
①ハンドルキャップを取りはずします。付属の「六角レンチ」で六角ビスを取りはずし、ハンドルを上方向へ抜き取ります。



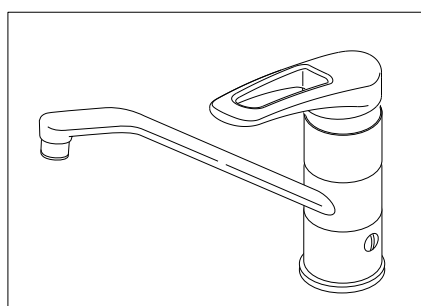
②カートリッジ締付ナットに「レンチ」などをかけ、左にまわして取りはずします。



③古いカートリッジを抜き取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差し込んでください。



④①～②の逆の手順で組み直してください。



取り付け時の注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取りはずしてください。
- カートリッジ底にベースパッキンがあることを確認してください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
- カートリッジ締付ナットは適度な力で締め付けてください。(締め付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

お手入れのしかた

●器具のお手入れ



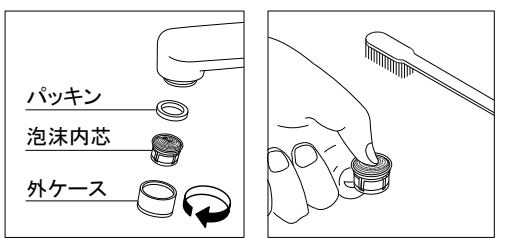
いつまでも美しくお使いいただくために。

- 水栓器具の金属部は…ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

クレンザーなどの目の粗い洗剤やたわし、または酸性洗剤・ベンジン・油などのご使用は、金属部を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますのでご注意ください。

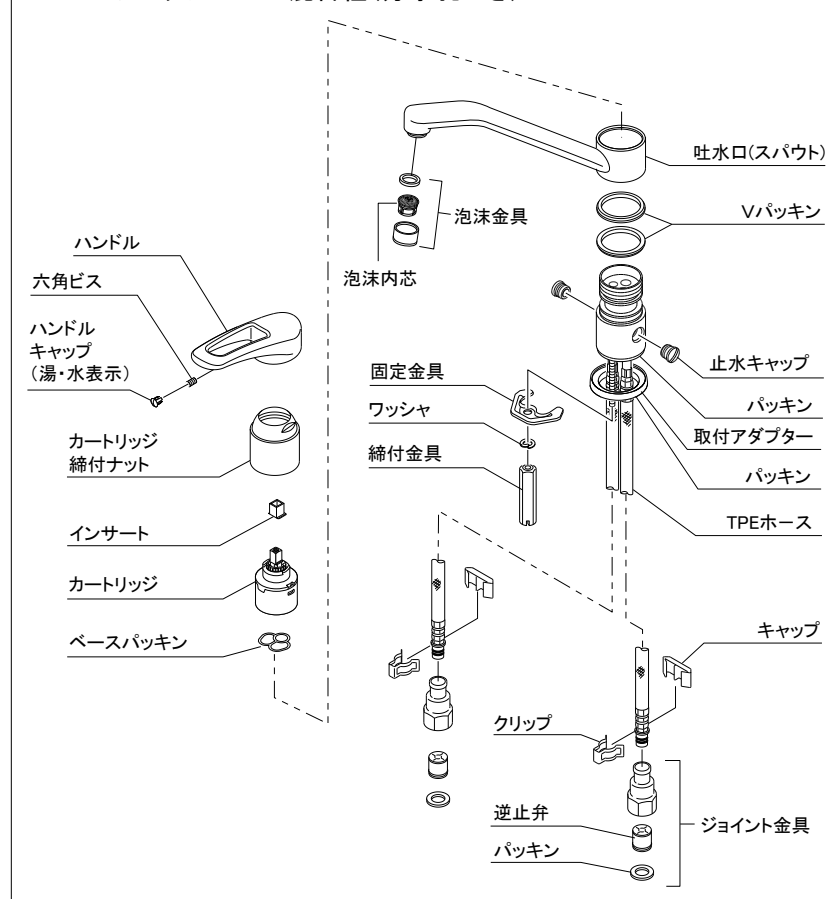
お願い

最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取りはずして、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取り除いてください。



分解図

KG-2 シングルレバー混合栓(分水孔つき)



* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓が閉まっている ●泡沫内芯の目詰まり	●適正水量になるまで止水栓のハンドルを開く ●泡沫内芯のゴミを取り除く
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水側の止水栓が閉まっている	●湯・水の元バルブを開く ●適正水量になるまで止水栓のハンドルを開く
止水不良	止水できない	●ハンドルに異物が付着している ●カートリッジの異常	●異物を取り除く ●カートリッジを交換する
	ハンドル下より水もれ	●締付ナットがゆるい ●カートリッジの異常	●締付ナットを締める ●カートリッジを交換する
	吐水口回転部付近から水もれ	●Vパッキンの磨耗または損傷	●Vパッキンを交換する
高温しか出ない	●水側の止水栓が閉まっている ●給湯圧より給湯圧の方が高い	●水側の止水栓のハンドルを調節する ●止水栓のハンドルを調節する	
	低温しか出ない	●湯側の止水栓が閉まっている ●給湯圧より給湯圧の方が高い ●給湯器の能力(給湯器の異常)	●湯側の止水栓のハンドルを調節する ●水側の止水栓のハンドルを調節する ●別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください
操作しづらい		●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」で六角ビスを締め直す
ハンドルがかたい	●締付ナットの締めすぎ ●カートリッジの異常	●締付ナットを適度な力で締め直す ●カートリッジを交換する	

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(工事店)にお問い合わせください。



本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

ご購入店名(施工業者名)

株式会社 **日本エトミック**